

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
第6回ショートフィールドビジットを実施しました

平成26年8月26日（火）から27日（水）に、本プログラム学生及び教職員の合計12名が、青森県六ヶ所村の六ヶ所原燃PRセンター、日本原燃株式会社、および公益財団法人環境科学技術研究所にて、第6回ショートフィールドビジットを実施しました。

六ヶ所原燃PRセンターでは六ヶ所村そして日本原燃株式会社の概要説明を受けた後に、原子燃料サイクル、低レベル、高レベル放射性廃棄物の処分・貯蔵について実寸の8割模型などを見学しました。その後、日本原燃株式会社施設内に移動し、再処理工場や低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターなどについて建屋の内外から見学を行い、核燃料サイクルの行程や原理について、また日本で唯一の低レベル放射性廃棄物の最終処分方法について、そして、高レベル放射性廃棄物のガラス固化原理や貯蔵方法などについて学習しました。

公益財団法人環境科学技術研究所では、研究所概要について説明を受けた後に、環境影響研究部で全天候型人工気象実験施設と閉鎖型生態系実験施設の見学を行い、植物中や環境中の放射性物質の動態パラメータ研究などについて学習しました。次に、生物影響研究部の先端分子生物科学研究センターでは、染色体異常解析現場の見学などを行い、マウスを用いた長期的な低線量暴露研究についての知識を深めました。

参加した学生からは「自分は文系であるが、理系の放射線に関する施設・研究現場などを見学することが出来て貴重な経験となり、分野横断的な知識を深めることが出来た。」などの意見があり、非常に充実したショートフィールドビジットとなりました。



六ヶ所原燃PRセンター見学の様子



公益財団法人環境科学技術研究所
環境影響研究部で説明を受ける参加者